



がんは働きながら治す！ 一億総活躍社会のためのがん教育

著者：中川恵一、関谷徳泰 発行：労働調査会 定価：(1,500円+税)

がんは、1981年以降、わが国の死因の第1位であり続け、今や日本人の2人に1人ががんに罹り、亡くなる方の3分の1ががんで亡くなっている。そんな中、昨年12月に成立した改正がん対策基本法では、「がん患者に関する国民の理解が深められ、がん患者が円滑な社会生活を営むことができる社会環境の整備が図られること」が、基本理念に追加され、さらに、「がん患者の雇用の継続に配慮するよう努めること」が事業主の責務として謳われ、今後、各企業における取組みが求められていくことになると思われる。

本書を企画・監修し、共著者でもある中川恵一先生は、厚生労働省のがん対策推進協議会の委員を長い間務められ、がん対策に精通されており、がん治療と仕事が両立できる社会を構築するには、国民のがんの基本的知識を身につけるよう、大人のがん教育の必要性を強調されている。本書では、働く世代でのがんの問題、職場におけるがんの予防と検診、国のがん対策、仕事と治療の両立など、大人のがん教育の基本となる基礎知識がわかりやすく解説され、まさに一億総活躍社会のための「大人のがんの教科書」となる1冊である。

若尾文彦
(国立研究開発法人国立がん研究センター
がん対策情報センター センター長)



面接指導版 嘱託産業医のための ストレスチェック実務Q & A

編者：ストレスチェック実務Q&A編集委員会 発行：産業医学振興財団 定価：2,700円(税込み)

この版の前にすでに同財団からQ&Aが出版されているが、今回の「面接指導版」のほうは、より私たち嘱託産業医には実務的な内容に仕上がっていると感じる。

前版では主に法に規定された制度全般が説明されており、今回は、実際の面接指導におけるの辞書代わりとして使用できる。

前版もそうだが、このシリーズはすべてを読み理解しておく類の本というよりも、わからないことを目次で調べて実践につなげる、というパターンの使い方がメインとなっている。

今回の版で特に有用に思えたのが、面接指導例(模擬面接)の章である。今まで、どのように面接を進め

たらよいかを迷っている者にとっては、この模擬面接のストーリーをなぞっていけば、効率よく面接を終えるための練習ができること間違いなしだ。

私は、面接指導は15分で終わられるように努力をしているが、この本のお陰で(特に面接指導例の章)効率よく実施できている。

また、付属のCDにはマニュアルを含めた行政資料を始めとし、必要な書類の雛形がワード形式で収納されているので、そのまま書き込んで報告書が作成でき、煩雑な作業が少しでも軽減されて非常に助かる。

面接指導の前に確認事項を再度チェックするのに非常に便利な1冊となっている。

上田 晃
(東京都医師会産業保健委員会委員長/
日本橋医師会監事/上田診療所院長)